

事 実 申 立 書

令和 年 月 日

宮崎県知事 河野 俊嗣 殿

住 所
会社名（氏名）
代表者役職・氏名
（担当者名）
（電話番号）

私は、国土利用計画法（昭和 49 年法律第 92 号）第 23 条第 1 項の規定による土地売買等の届出義務に反して、期限（契約締結の日から起算して 2 週間）までに土地売買等届出書を綾町長に提出しませんでした。ここに法令違反の事実の存在を認め、その事実関係について、下記のとおり関係書類を添えて申し立てます。

今後は、県や市町村の助言・指導に従い、再び今回のようなことを繰り返すことのないよう土地取引等に際しては、国土利用計画法を遵守します。

記

1 証拠書類

- ☐ 事実申立書（本書）
- ☐ 土地売買等の契約書の写し
- ☐ 位置図（土地の位置を明らかにした 1/50,000、1/25,000 の地形図又は同程度の地形図）
- ☐ 周辺状況図（土地及びその付近の状況を明らかにした 1/5,000 以上の図面）
- ☐ 形状図（字図、公図等の写し）
- ☐ 登記簿謄本（写しでも可）
- ☐ 重要事項説明書の写し（宅地建物取引事業者の仲介斡旋を受けた場合）
- ☐ 宅地建物取引業免許証の写し（宅地建物取引事業者である場合）
- ☐ 土地開発事業等に関する計画図等（存在するときのみ）
- ☐ その他（ ）

※ 提出された書類の欄に、チェックマーク（☒）をしてください。それぞれ 2 部ずつ提出してください。

2 取引を行った土地

件	所在地	面積（㎡）	譲渡人氏名
1			
2			
3			

※ 3 件以上にわたるときは、適当に補正して記入してください。

3 取引の内容

件	契約期日	契約金額（円）	土地売買等の契約書の有無（○印をつける）
1	年 月 日		有・無
2	年 月 日		有・無
3	年 月 日		有・無

※ 2 の番号と一致対応させ、また、契約書がある場合の契約期日は契約書の日付としてください。

4 土地の利用目的

件	利用目的
1	
2	
3	

5 所有権移転等の原因・経緯（※ 通常の売買以外の場合のみ記入してください。）

6 取引の対象となった土地に関する裁判所の関与
無・有（※ いずれかを○で囲んでください。有の場合、裁判所名及び「競売」等、取得に至る概要を記入してください。）

7 宅地建物取引業法に基づく免許の有無
無・有（※ いずれかを○で囲んでください。）

8 宅地建物取引業者による仲介斡旋等の有無
無・有（※ いずれかを○で囲んでください。）

9 宅地建物取引業者から重要事項説明書の交付と国土利用計画法の届出について説明を受けましたか。（8で有と回答された場合のみ。無と回答された場合は回答不要）
無・有（※ いずれかを○で囲んでください。）

10 重要事項説明書には国土利用計画法に基づく届出について記載がされていますか。
（9で有と回答された場合のみ。無と回答された場合は回答不要）
無・有（※ いずれかを○で囲んでください。）

11 業種・職種は何ですか？

12 あなた（会社）は、今後とも仕事に関連して今回のような規模の土地取引をされますか？
無・計画有・可能性有・土地取引が仕事（※ いずれかを○で囲んでください。）

13 あなた（会社）は、法令に反して何故期限までに届出書を提出されなかったのですか？
（※ いずれかに□をつけてください。）

- ☐ 全く知らなかった
 ☐ 一定は知っていたが期限等の勘違いをしていた。
☐ うっかりしていた。
 ☐ 面倒であった。提出すると都合が悪かった。
 ↓（※ 詳しく事情を記入してください。）

14 あなたは（会社）は、これまで届出に関して注意等の指導を受けたことがありますか。
無・有（※ いずれかを○で囲んでください。有りの場合その時期を記入してください。）

15 その他（※ 何かありましたら記入してください。）